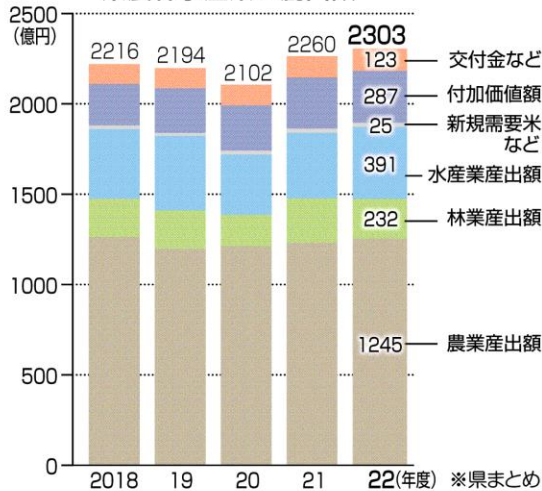




県農林水産業の創出額



食と農林水産

おいいた

22年度2303億円

農林水産創出額が最高

養殖ブリ、ネギけん引

県は2022年度の県農林水産業の創出額が、21年度から43億円(1.9%)増えて2303億円だったと発表した。増加は2年連続。13年度に集計を始めて以降、最高になった。水産業がけん引し、養殖ブリの販売単価上昇などで伸びた。農業もネギ類で規模拡大があり、押し上げた。

水産業の産出額は29億円(8.0%)増の391億円だった。養殖が過去最高の298億円で、このうちブリ類が26億円増の221億円だった。水産業の産出額は29億円(8.0%)増の391億円だった。漁により生産量が減少し、販売単価が4割近く上がったため。漁船漁業は巻き網漁が不漁で、イワシ類が5億円減の9億円だった。

農業は17億円(1.4%)増の1245億円。白ネギ、小ネギは生産者の規模拡大、新規就農により栽培面積が97畝広がった。産出額は10億円増の81億円。畜産の肉用牛は、若手生産者による肥育数が増えて、14億円増の153億円だった。林業は13億円(5.3%)減の232億円。世界で木材の争奪戦が起きたウッドショックが落ちつき、価格が下がったため。木材生産の産出額は11億円

減って178億円。一方で中国の底堅い需要などを背景に、丸太生産量は過去20年で最多の167万立方メートルを記録した。付加価値額は5億円(1.8%)増の287億円。カット野菜などの食品加工が国産需要の高まりで伸びた。

県農林水産企画課は「新型コロナウイルス禍の影響が和らぎ、園芸品目などで伸びが見られた。生産者らを引き続き支援していく」と話している。(清松俊朗)



農林水産業創出額
県が独自に定めた指標で、2013年度分から公表を続けている。国が都道府県別に示す農林水産業産出額に、付加価値額、国の交付金などを加えて算出している。長期目標として23年度に2650億円の達成を掲げており、22年度実績は2347億円の開きがある。

〔問①〕 2022年度の大分県の農林水産業の創出額のうち、産出額が最大なのは何業でしょう。その額は。

〔問②〕 ブリの稚魚は何といいいますか。

〔問③〕 大分県の農林水産業を盛り上げる方策を考えよう。